

指定管理者候補の選定結果について

下記のとおり、指定管理者の「候補」が選定されました。指定管理者の指定については、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を経る必要があり、令和3年12月議会の議決を経た後に正式に指定することとなります。

1 指定概要

(1) 施設概要

名称：北九州市立戸畑障害者地域活動センター

所在地：北九州市戸畑区千防一丁目1番16号

施設内容

① 施設概要

敷地面積：約3,155㎡

構造：鉄筋コンクリート造3階建（3階建てのうち1階部分）

規模：延床面積約1,690㎡

② 事業内容

- ・障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（以下「障害者総合支援法」）に基づく生活介護事業
- ・障害者総合支援法に基づく自立訓練事業
- ・障害者総合支援法に基づく就労継続支援事業 等

(2) 指定期間

令和4年4月1日～令和9年3月31日

(3) 指定管理者候補の概要

名称：社会福祉法人北九州障害者福祉事業協会

所在地：北九州市戸畑区北鳥旗町2番22号

主な業務内容：第一種社会福祉事業（障害者支援施設の運営）

第二種社会福祉事業（障害福祉サービス事業の実施）

2 指定の経緯

令和3年7月9～15日 募集要項配布

令和3年9月10日 募集締め切り

令和3年10月4日 指定管理者検討会の開催

令和3年10月 指定管理者候補を決定

(1) 応募資格

- ①法人であること。
- ②本社、本店又は主たる営業所、事業所等を、事故など緊急な対処を要する事態が発生した場合に迅速に対応できる場所に有するもの。
- ③募集説明会に参加していること。

(2) 応募状況

説明会参加：1 団体

応募件数：1 団体（社会福祉法人北九州障害者福祉事業協会）

3 選定方法

指定管理者の選定に当たっては、学識経験者や専門家等による指定管理者検討会を開催し、応募者から提出された事業計画書等について検討しました。市は、検討会の検討結果を参考に指定管理者候補を決定しました。

4 検討会構成員

- ・[財務関係者] 大谷 晃士（大谷公認会計士事務所 所長）
- ・[学識経験者] 高口 恵美（西南女学院大学 専任講師）
- ・[学識経験者] 高橋 秀直（北九州市立大学 准教授）
- ・[民間有識者] 森 聖子（北九州市障害福祉団体連絡協議会 事務局長）

※ 五十音順

5 選定基準等

選定基準（＝審査項目）及びポイント	
1	指定管理者としての適性
	(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針
	① 応募団体が、市の当該分野における基本的な政策や計画、あるいは施設の設置目的や性格等を十分に理解した上で、それらに適合した管理運営（指定管理業務）に対する理念や基本方針を持っているか。
	(2) 安定的な人的基盤や財政基盤
	① 長期間安定的な管理運営（指定管理業務）を行っていただくだけの人的基盤や財政基盤等を有しており、又は確保できる見込みがあるか。
	(3) 実績や経験など
	① 応募団体が同様、類似の業務の実績を有しており、成果を上げているか。
	② 応募団体が施設の管理運営（指定管理業務）に関する専門的知識や資格、経験を十分に有しており、熱意や意欲を持っているか。
2	管理運営計画の適確性
	【有効性】
	(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み
	① 施設の管理運営（指定管理業務）に係る事業計画の内容が、施設の効用を最大限に発揮し、施設の設置目的に沿った成果が得られるものであるか。
	② 施設の利用者の増加や利便性を高めるための実施可能な提案があるか。
	③ 施設の設置目的に応じた営業・広報活動に関する効果的な提案があるか。

④ 利用者の障害特性等に応じた適正なサービス提供計画（個人計画）の作成等についての提案があるか。 ・発達向上 ・社会性の向上 ・身体機能の維持、向上 ・自立支援 など
⑤ 利用者の家族支援（障害者を介護する保護者等）についての基本的な考え方や具体的な取り組み等の提案があるか。
(2) 利用者の満足度
① 利用者の満足が得られるよう十分に考えられているか。
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる仕組みを構築しているか。
③ 利用者からの苦情に対する対策が十分に考えられているか。
④ 利用者への情報提供が図られるよう十分に考えられているか。
⑤ 利用者のニーズ等に沿った取り組み（社会参加や生きがいがづくりなど）が考えられているか。
⑥ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な提案がなされているか。 ※就労移行支援・就労継続支援のサービスを提供する施設は、以下を提案に記載すること。 利用者の一般就労、工賃（賃金）の向上のための具体的な取り組みが考えられているか。
【効率性】
(3) 指定管理料及び収入
① 指定管理業務に係る費用（指定管理料）が最小限に抑えられているか。
② 収入が最大限確保される提案であるか。
③ 完全利用料金制の場合、市に対して収益の一部を納付する提案があるか。
(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性
① 収支計画が妥当かつ、実現可能な提案であるか。
② 経費の配分は適切であるか。
③ 積算根拠は明確であるか。
④ 再委託が適切な水準で行われているか。
【適正性】
(5) 管理運営体制など
① 施設の管理責任者、管理体制が明確に示されているか。
② 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であるか。
③ 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員が必要な資格、経験などを有しているか。
④ 職員の資質・能力向上を図るよう考えられているか。
⑤ 地域の住民や関係団体等との連携や協働による事業展開が図られるものであるか。
(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など
① 施設の利用者の個人情報を守るための対策が十分に考えられているか。
② 施設の利用者に対する人権が尊重され、また、身体拘束及び虐待等の防止策が十分に考えられているか。
③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われるよう配慮されているか。
④ 日常の事故防止などの安全対策や事故発生時の対応などが十分に考えられているか。
⑤ 衛生管理及び感染症防止への対応策が十分に考えられているか。
⑥ 防犯、防災対策や非常災害時の危機管理体制などが十分に考えられているか。

【評価レベル】

評価レベル	乗率	評価レベルの考え方
5	100%	特に優れている（市の要求水準を大幅に上回っている、高度な能力を有している）
4	80%	優れている（市の要求水準を上回っている、十分な能力を有している）
3	60%	普通（市の要求水準を満たしている、一応の能力を有している）
2	40%	多少不十分である（市の要求水準を下回っている、多少能力が乏しい）
1	20%	不十分である（市の要求水準を大幅に下回っている、能力が乏しい）
0	0%	劣っている（能力がほとんどなく、任せることに不安がある）

6 審査結果

(1) 評価レベル及び得点

団体名	選定基準（＝審査項目） 及びポイント	配点	評価レベル					平均	審査結果	得点
			構成員							
			A	B	C	D				
社会福祉法人 北九州 障害者 福祉事 業協会	1 指定管理者としての適性									
	(1) 施設の管理運営に対する理念、基本方針	5	4	4	4	3	3.7	4	4	
	(2) 安定的な人的基盤や財政基盤	5	4	5	4	3	4	4	4	
	(3) 実績や経験など	5	4	4	4	4	4	4	4	
	2 管理運営計画の適確性									
	【有効性】									
	(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み	25	3	4	4	3	3.5	3	15	
	(2) 利用者の満足度	20	4	3	4	4	3.7	4	16	
	【効率性】									
	(3) 指定管理料及び収入	10	4	5	3	3	3.7	4	8	
	(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性	10	3	5	3	3	3.5	3	6	
	【適正性】									
	(5) 管理運営体制など	10	4	5	4	4	4.2	4	8	
	(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	10	3	5	3	3	3.5	3	6	
合計	100	71	85	74	67	—		71		
地元団体に対する優遇措置（5点）									76	

※「平均」欄は小数点第1位まで記入。小数点第2位以下は切捨て

(2) 検討会における主な意見

【指定管理者としての適性】

- ・基本方針を具体的に5つの柱とし、分かりやすくしている。車に掲示等、

- 職員に共有している点も高評価。利用者にも分かる工夫があるとなお良い。
- ・財務状況は良好であり、十分な財政基盤がある。また、障害者事業所を複数経営しており、人材に厚みがあること、人材確保の仕組みづくりが構築されていることから、十分な人的基盤があると思われる。
 - ・専門職の養成校などの実習やボランティア受入れなどを通し、経験を通して就職に繋がる体制がある。
 - ・法人として約50年の活動経験があり、実績は十分であるとする。
 - ・長年の運営実績があることに加え、地域のニーズに即したサービスの拡充をしていることから、専門性や経験などを活かした施設運営のノウハウを有していると思込まれる。

【管理運営計画の的確性】

- ・個別支援計画について、個人の特性に合ったものに工夫する余地を感じた。
- ・とかつ健康マイレージやポイント制度の実施など、利用者の健康や意欲を向上させるための取組みが行われており評価できる。
- ・助成金等の活用や各種加算の確保、事業費の低減について提案がされており評価できる。
- ・収支計画の妥当性及び実現可能性は十分であり、適正である。
- ・メンター制度など導入し、職員の定着を促している。
- ・安全対策・危機管理体制について、利用者、近隣も併せた提案があるとなお良い。

(3) 検討会における検討結果

応募団体について検討会で審査した結果、指定管理者の適性については3つの審査項目のうち、全ての項目で評価レベル4、有効性においては2つの審査項目については評価レベル3と4、効率性の2つの審査項目については評価レベル4と3、適正性の2つの審査項目については評価レベル4と3となり、全体的に市の要求水準を満たしており、一応の能力を有していることが認められた。

なお、付帯意見として、「利用者と一緒になった組織運営と、スタッフにとって無理のない育成システムの構築に取り組んでいただきたい。」を付すこととなった。

7 選定結果

市は、検討会の検討結果を参考に、社会福祉法人北九州障害者福祉事業協会を指定管理者候補に選定しました。

(1) 選定された団体の主な提案内容

別紙「提案概要」のとおり

(2) 市における主な選定理由

- ・当該法人は、長年にわたり、法人立の障害者施設の運営を行っており、障害福祉に関する専門的知識や経験、ノウハウを有している。戸畑障害者地域活動センターについても、平成19年の開設当初から円滑に管理運営を行って

きた実績がある。

- ・開設当初から、指定管理者として施設の管理運営を行っている。施設の設置目的等について十分に理解しており、施設の管理運営に関して強い意欲が感じられる。
- ・法人全体で、将来の人材育成についても積極的に取り組む姿勢がある。また、各種の研修制度等により職員の資質向上等に努めている。
- ・当該法人は、十分な基本財産を有しており、財政基盤は安定している。また、経費削減についても一定の取組みがなされている。
- ・利用者や家族のニーズに基づく個別支援計画の策定、社会参加の推進、苦情対応、情報提供など、利用者の満足度向上に関しても、現状と課題を踏まえた様々な提案がなされており、十分な成果を上げることが期待できる。

8 提案額

0千円